

自動車管理(計画・変更計画書・報告)書

令和 7年12月5日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第44条第3項において準用する同条例第25条第3項+
第46条第1項+ 第46条第2項において読み替えて準用
第45条第1項
第46条第2項において準用する同条例第45条第1項

第44条第3項において読み替えて準用する同条例第25条第4項
する同条例第44条第3項において読み替えて準用する同条例第25条第4項

の規定に基づき、

自動車管理計画を 策定 (変更)
自動車管理報告書 を作成 しましたので、提出します。

1 事業者に関する事項

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社 Re-tec	
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県大津市関津3丁目5-6	
県内事業所数	1	事業所
県内自動車使用台数	12	台
自動車の使用に伴う 温室効果ガス排出量	7.265588	t-CO ₂

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	R6	年度	終了年度	R7	年度
報告対象年度	R6					年度

3 計画(内容・実施状況)

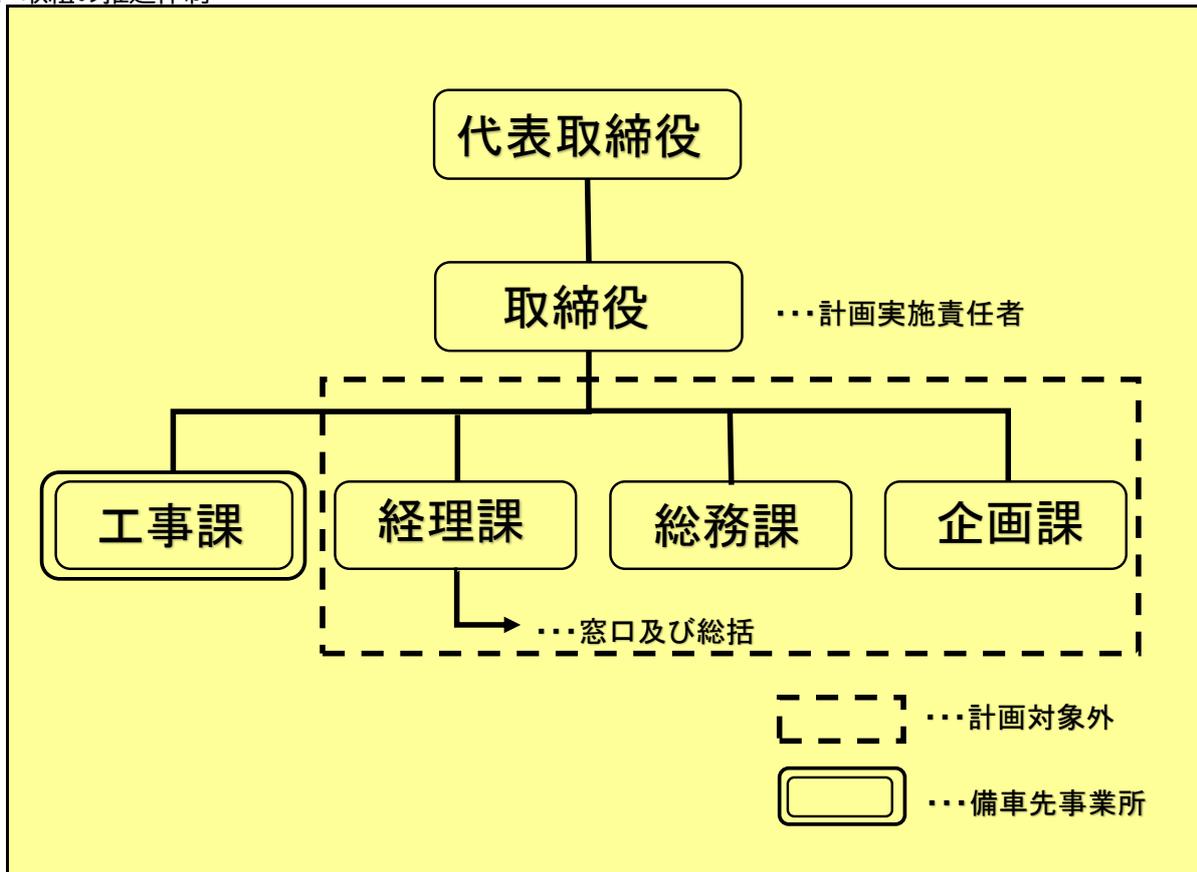
計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本的な方針

EVやPHEVは、内燃機関車両に比べて温室効果ガスの排出が大幅に少ないため、これらの車両の導入を積極的に推進します。電気自動車やプラグインハイブリッド車の普及を促進し、ガソリンやディーゼルを燃料とする従来の内燃機関車両からの転換を図り、政府や自治体による助成金や税制優遇措置の提供を通じて、購入コストを抑えることができます。燃費性能の向上により、同じ走行距離で消費される化石燃料の量を削減し、結果として排出される温室効果ガスの減少する事が可能になり、電気自動車の充電や水素燃料車の水素製造に、再生可能エネルギー(太陽光、風力、水力など)を利用することで、間接的な温室効果ガスの排出を削減し、再生可能エネルギー供給源全体での炭素排出を削減することが可能です。運転者に対して、燃費を向上させる運転方法を教育する取り組みを行います。具体的には、燃料消費を抑えた運転技術(エコドライブ)の普及や推進を行い、また、無駄な加速・減速の抑制や、適切なタイヤ空気圧の維持、アイドリングストップの実地など、自動車1台あたりの乗車人数を増やすことで、1人あたりの排出量の削減に寄与します。また、自動車交通の総量を減らすために、都市計画において、交通量を最適化することで生活圏の分散化を防止します。カーシェアリングやライドシェアリングサービスを普及させ、個々の車両利用を減らします。これらにより、車両1台あたりの利用率が向上し、全体の車両数の削減にもつながります。これらの方針を前年度は積極的に取り組みをいたしました。包括的に実地することで、自動車使用に伴う温室効果ガス排出量を効果的に削減することが可能となり、持続可能な社会への移行を目指すことが可能です。

2 取組の推進体制



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

3 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の削減に関する取組の内容

項目	取組の内容	目標達成確認指標				実施結果
			現状	目標	CO ₂ 排出量削減目標(%)	
自動車使用の合理化	自動車ごとに走行距離、燃料消費量のデータを一元管理し、自動車利用の効率化の取組を推進	1台当たりの年間走行距離	2万km	1.5万km	25%	R6年度は、運送の合理化により年間走行距離をトラック1台当たり800km削減。また、グループ会社と連携し、共同配送を10件行いました。
より温室効果ガス排出量が少ない自動車の導入	電気自動車、燃料電池車の導入	導入台数	0台	1台	10%	前年度の実績は、0台となっており、引き続き、目標の達成に向けて取組を進める。
	ハイブリッド車、天然ガス車の導入	導入台数	2台	3台		R6年度の実績は、2台であり、引き続き目標の達成に向けて取組を進める。
次世代自動車等の比率を増やす取組	老朽車両の更新および台数の削減	R7年度の保有率	80%	50%		R6年度に更新を行わず保有率は80%ですが、今後、老朽車両の計画的な更新と台数の見直しを進めます。
従業員に対する自動車使用に伴う温室効果ガス排出削減に関する教育	従業員の対して年1回のエコドライブ研修を実地する。	研修の実地	年4回	各従業員の運転状況の分析	25%	研修の実地等により、車両の運行にかかる自動車の年間平均燃費は18km/Lとなりました。
		上記により燃費の向上を図る	15Km/L	20km/L		
その他の取組	営業所駐車場において、従業員、来客者向けにアイドリングストップの呼びかけを	従業員への徹底	実地	継続実地		R1年以降継続して実施
		哲発の実地(看板の設置、HPでのアナウンス)	実地	継続実地		R1年以降継続して実施
				合計	49%	

備考 現状や目標については、内容に応じ文章で表現しても構いません。